

平成30年度 長崎ゆかりの文学展

「県立長崎図書館 106年の軌跡」

今回の企画展では、芳名録や長崎ゆかりの作家の資料等の展示をとおして、長崎県立長崎図書館の歩みを振り返ります。また、「明治150年」を記念し、本館所蔵の明治期の資料を展示します。

【主な展示資料】

- 芳名録
- 福田須磨子関係資料（7月10日から展示）
- おおえひで関係資料（10月16日から展示）
- 明治期の長崎に関する資料（10月16日から内容変更）
- その他 本館初公開資料（10月16日から内容変更）

期間 平成30年4月24日（火）～平成30年11月30日（金）

※ 休館日を除く

場所 長崎県立長崎図書館 4階 郷土資料展示室

主催 長崎県立長崎図書館

平成30年度 長崎ゆかりの文学
「県立長崎図書館106年の軌跡」 主な展示目録

○印は10月16日から新たに展示

資料名等	著者名	出版社	出版年	備考
県立長崎図書館を訪れた人々				
1 芳名録第1 / 大正8年2月～同9年12月				芥川龍之介、柳田国男、菊池寛
2 芳名録第2 / 大正9年11月～同10年6月				徳富猪一郎（徳富蘇峰）
3 芳名録第4 / 大正11年3月～12月				坪内雄蔵（坪内逍遙）
4 芳名録第6 / 大正12年7月～同13年3月				新村出
5 芳名録第9 / 大正14年5月～11月				若槻礼次郎
6 芳名録第10 / 大正14年11月～同15年5月				谷崎潤一郎
7 芳名録第12 / 大正15年10月～昭和2年3月				広田弘毅
8 芳名録第13 / 昭和2年3月～6月				野口雨情、中山晋平
9 芳名録第18 / 昭和3年10月～同4年10月				犬養毅
10 芳名録第22 / 昭和9年10月～同11年6月				北原白秋
11 芳名録第25 / 昭和13年4月～11月				牧野富太郎
12 芳名録第26 / 昭和13年11月～同14年5月				佐々木信綱
13 芳名録第35 / 昭和31年7月～同32年3月				岡本太郎
14 芳名録第36 / 昭和32年4月～同35年6月				堀田善衛
15 芳名録第39 / 昭和36年8月～同37年5月				池波正太郎
16 芳名録第42 / 昭和39年5月～8月				司馬遼太郎
17 芳名録第44 / 昭和40年4月～10月				吉田正
18 芳名録 第48 / 昭和44年3月～同45年2月				丸山明宏（美輪明宏）
19 芳名録第52 / 平成8年8月～同17年6月				吉村昭
所蔵コレクション				
○ 20	〔書画〕佐多稲子書 『気に入るんだって。僕はこの言葉を死ぬほど嫌ひだ ロツテが気に入るなんて「若いエルテルの悩み」より 佐多稲子』	佐多稲子 / 筆		製作年不明 初公開
○ 21	〔書画〕平山蘆江自画賛幅 「土手の長さとはなしのながさやなぎやなぎに春の雨 昭和乙亥（昭和10年）秋 平山蘆江」	平山蘆江 / 筆		〔昭和10年〕 初公開
○ 22	〔書画〕岡部耕大 「無一物即無盡蔵 耕大」	岡部耕大 / 筆		製作年不明 初公開 舞台「長崎の鐘」で使用
○ 23	〔書画〕折口信夫 「やまきしにひるをちむしのなきみちてこのしつけさに 身はつかれたり」	折口信夫 / 筆		製作年不明 折口信夫第一歌集「海やまのあひだ」所収 大正10年8月に民間伝承収集のため、長崎県杵 岐島を訪れた際に詠った作品
福田須磨子関係資料				
24	〔原稿〕福田須磨子 われなお生きてあり	福田須磨子 / 筆		製作年不明 草稿「第三部 四 われなお生きてあり」 68枚（うち表紙1枚）
25	〔原稿〕福田須磨子 続 われなお生きてあり 2	福田須磨子 / 筆		製作年不明 ペン書 400字詰原稿用紙2枚
26	〔原稿〕福田須磨子 詩集「烙印」	福田須磨子 / 筆		製作年不明 原稿下書き 400字詰原稿用紙69枚
27	〔はがき〕劉寒吉発 「福田須磨子」宛 7月15日	劉寒吉 / 筆		製作年不明 初公開
28	〔書簡〕佐多稲子発 「福田須磨子」宛 11月1日	佐多稲子 / 筆		製作年不明 初公開
29	〔書簡〕福田須磨子発 「豊後れい子」宛 昭和33年6月4日〔消印〕	福田須磨子 / 筆		〔昭和33年〕 初公開
30	〔原稿〕福田須磨子 詩三篇 1973（S48）	福田須磨子 / 筆		〔昭和48年〕 初公開 未発表の詩三篇（未発表） 「鏡」、「鏡の中の自分へ」、「返信」
31	〔原稿〕福田須磨子 続 われなお生きてあり	福田須磨子 / 筆		製作年不明 初公開 400字詰め原稿用紙23枚 『長崎の証言』第六集所収（未掲載部分あり）
32	〔原稿〕福田須磨子 氷雨降りつつく	福田須磨子 / 筆		製作年不明 初公開 400字詰め原稿用紙25枚 『原子野に生きる』所収
33	〔原稿〕福田須磨子 われなお生きてあり 三 烙印 その二	福田須磨子 / 筆		製作年不明 初公開 400字詰め原稿用紙8枚

資料名等	著者名	出版社	出版年	備考
芥川賞・直木賞受賞作品原稿				
34	〔原稿〕野呂邦暢 草のつるぎ	野呂邦暢／筆		製作年不明 第70回芥川賞 ペン書 400字詰原稿用紙158枚
35	〔原稿〕林京子 祭りの場	林京子／筆		製作年不明 第73回芥川賞ペン書 400字詰原稿用紙4枚
36	〔原稿〕村上龍 限りなく透明に近いブルー	村上龍／筆		製作年不明 第75回芥川賞 ペン書 400字詰原稿用紙1枚
37	〔原稿〕穂積鶯 勝烏	穂積鶯／筆		製作年不明 第36回直木賞 ペン書 400字詰原稿用紙2枚
明治期の長崎				
38	長崎県統計表 明治11年	長崎県／編	長崎県	明治12年 「長崎新町活版製造所」(本木昌造創設)で印刷された資料
39	長崎県統計表 明治12年	長崎県／編	長崎県	明治13年 原本：国立国会図書館所蔵複写
40	長崎県公報 明治23年7月～同23年12月	長崎県／編	長崎県	明治23年
41	長崎県公報 明治24年1月～同24年12月	長崎県／編	長崎県	明治24年
42	長崎県職員録 明治10年～同14年現在	長崎県／編	長崎県	明治10年
43	長崎県有志教育会雑誌 22号	田幡東三郎／編	長崎県有志教育会事務所	明治20年
44	長崎県警察統計書 明治19年	長崎県警察部／編	長崎県	明治19年 「長崎県警察統計表」の改題
45	長崎県警察統計書 明治20年	長崎県警察部／編	長崎県	明治21年 「長崎県警察統計表」の改題
46	〔書画〕長岡半太郎 〔回郷偶書 其の二〕 離別家郷歳月多 近來人事半消磨 唯有門前鏡湖水 春風不改舊時波 渠水	長岡半太郎／筆		製作年不明 掛け軸、紙本、落款あり、元表装、箱有り
○ 47	肆拾貳国人物図説	西川如見／著	東京 西川忠亮	明治31年
○ 48	長崎地名考 附録 物産之部	香月薫平／著	虎与号商店	明治26年
○ 49	日本人 第六号	志賀重昂／編	正教社	明治21年
○ 50	高等小学読本 1	文部省編輯局／〔編〕	文部省大臣官房図書課	明治21年
○ 51	日清大戦争図解	福田初次郎／版・画	福田初次郎	明治28年
○ 52	日清大戦争図解	有山定次郎／版・画	有山定次郎	明治28年
○ 53	教訓画	渡邊忠久／画	渡邊忠久	明治24年
○ 54	地券 明治9年改正	長崎県／編	長崎県	明治14年
○ 55	長崎振遠隊へ賞状			明治2年
本館初公開資料				
○ 56	〔書簡〕斎藤茂吉自筆書簡・はがき	斎藤茂吉／筆		製作年不明
○ 57	〔原稿〕庄野潤三 『「花眼」の作者』	庄野潤三／筆		製作年不明 鉛筆書き 400字詰め原稿用紙 7枚完 森澄雄句集『花眼』(牧羊社于1969年)の附録
○ 58	〔原稿〕神近市子 『通俗的な恋愛生を採らない』	神近市子／筆		製作年不明 ペン書 400字詰め原稿用紙 4枚完 元題「二者のいづれか」
○ 59	〔原稿〕東由多加 ニューヨーク便り『ザ・シティ』の批評がでた	東由多加／筆		製作年不明 ペン書 便箋
○ 60	〔原稿〕正宗得三郎 『長崎』	正宗得三郎／筆		製作年不明 ペン書 原稿用紙(福田特製)3枚完 1926年6月2日付け毎日新聞に掲載
○ 61	〔原稿〕山本健吉 『井伏鱒二氏の文章』	山本健吉／筆		製作年不明 ペン書 400字詰め原稿用紙 6枚完
○ 62	〔原稿〕おおえひで 八月が来るたびに	おおえひで／筆		製作年不明
○ 63	〔原稿〕おおえひで おしゃべりらんど	おおえひで／筆		製作年不明
○ 64	〔色紙〕清水崑 金瓶梅	清水崑／筆		昭和24年 裏面に「金瓶梅(於日劇 昭和二十四年二月) 清水崑氏作 贈 常世田様 新野」の表記あり
○ 65	〔色紙〕清水崑 人物	清水崑／筆		製作年不明 墨絵(彩色)
○ 66	〔短冊〕石橋忍月 奇手一石響き蘭柯の亭涼し	石橋忍月／筆		製作年不明 墨書 上部に金粉の模様あり 裏面には、日付と「石橋忍月氏」の文字が記されている
○ 67	〔はがき〕伊東静雄発 「たかはししげおみ」宛 昭和25年12月17日〔本文〕	伊東静雄／筆		昭和25年 『定本 伊東静雄全集』(P518)所収
○ 68	〔はがき〕伊東静雄発 「たかはししげおみ」宛 昭和26年4月12日〔消印〕	伊東静雄／筆		昭和26年 『定本 伊東静雄全集』(P520)所収
○ 69	〔はがき〕伊東静雄発 「高橋重臣」宛 昭和25年10月24日〔消印〕	伊東静雄／筆		昭和25年 『定本 伊東静雄全集』(P517)所収
70	〔原稿〕吉井勇 明治座春色	吉井勇／筆		製作年不明 半紙2枚に8首 毛筆書、歌稿 「長崎のグラバー屋敷見しときの思い出ちてこの芝居見る」ほか
71	〔原稿〕川上宗薫 ナガサキ・妹と母は炎と燃え	川上宗薫／筆		製作年不明 ペン書 400字詰自家用箋24枚完 「婦人公論」昭和43年8月号に掲載

平成30年度 長崎ゆかりの文学
「県立長崎図書館106年の軌跡」 主な展示目録

資料名等	著者名	出版社	出版年	備考
72 〔原稿〕 中原綾子 短歌8首	中原綾子／筆		製作年不明	ペン書 400字詰め原稿用紙1枚目のみ未完か
73 〔原稿〕 福田清人 傳統	福田清人／筆		製作年不明	ペン書 400字詰め原稿用紙 28枚完
74 〔原稿〕 佐多稲子 飛鳥路（飛鳥を訪ねる）	佐多稲子／筆		製作年不明	週刊朝日に掲載か 『新日本名所案内下巻』所収 万葉集の縁を追って飛鳥を訪れた際の随筆
75 〔原稿〕 神近市子 何のための民法改正か	神近市子／筆		製作年不明	週刊サンケイ9月26日号の記事あり
76 〔書簡〕 佐多稲子発 「和田義雄」宛 〔昭和21年〕10月17日	佐多稲子／筆		〔昭和21年〕	半載200字詰め（北隆館）原稿用紙14枚 自身の代表作「くれない」の札幌版刊行につい て、印税上のトラブルに関する文面
77 〔色紙〕 遠藤周作 「沈黙」より 踏絵を踏む足も痛い 遠藤周作	遠藤周作		製作年不明	落款入り
78 〔色紙〕 野呂邦暢 黒人の歌は私を惹きつける 野呂邦暢	野呂邦暢／筆		製作年不明	「日が沈むのを」の冒頭に出てくる言葉
79 〔短冊〕 金子兜太 司教にある蒼白の丘疾風の鳥 兜太	金子兜太／筆		製作年不明	『金子兜太句集』に所収
80 〔色紙〕 川上宗薫 春気発動 川上宗薫	川上宗薫／筆		製作年不明	
81 〔団扇〕 森澄雄 旅八日を急がぬごとく山法師 澄雄	森澄雄／筆		製作年不明	句集『鯉素』に所収
82 〔はがき〕 伊東静雄発 「高橋重臣」宛 昭和22年12月26日〔消印〕	伊東静雄／筆		昭和22年	

※期間中 展示品の入れ替えをすることがあります

県立長崎図書館 沿革

	出来事
明治	26 安中半三郎、香月薫平長崎文庫設立の議を起す 27 長崎市新橋町に長崎文庫設置 30 長崎文庫を引地町41番戸第2号へ移す 36 長崎県教育会有志が図書館設立を計画
大正	45 4月「長崎県立長崎図書館規則」が制定され、6月1日県立長崎図書館を創立し、長崎市新橋町に開館（蔵書2,400冊）
昭和	4 長崎市上西山町の交親館（県会議事院兼外賓接待所）を図書館として改修した後、現在地に移転、併せて書庫を増築 永山時英 初代専任館長に就任 19 書庫を除く本館庁舎を軍部が接收、書庫内での閲覧業務に縮小 20 8月9日投下された原子爆弾により、本館庁舎西側が破壊 書庫内で閲覧業務を再開、本館庁舎は県土木部と長崎地方裁判所が使用 23 本館庁舎が返還され、原状復帰 35 長崎国際文化センター建設事業の一環として新館（現図書館）落成（鉄骨・鉄筋コンクリート3階建、書庫4層） 自動車文庫を発足 36 離島各市町村に11分館を開設 43 明治百年を記念し、図書館4階増築による史料館建設着工（史料課を新設） 46 長崎県公共図書館協議会を設立 長崎県地方史研究会発足 48 全館冷暖房を完備 51 3階閲覧室に開架書架（2,000冊）を増設（開架図書計1万7,000冊） 55 書庫1・2層の積層式書庫を移動式書架に改造（蔵書能力は10万8,000冊増の45万8,000冊） 59 郷土出身作家コーナー開設、佐世保市に県北文庫を開設 63 電算システム始動
平成	元 市町村とのオンライン開始 3 郷土資料電算システム始動 7 新書庫（442.45㎡、15万冊）増築 8 開館時間を9時30分に変更（こども室を除く） 10 県北文庫を廃止 11 貴重資料保管庫新設 自動車文庫・分館を廃止 協力車の運行開始 インターネットによる蔵書検索開始 12 雑誌・新聞コーナー改修 15 長崎県大学図書館協議会と長崎県公共図書館等協議会間で相互協力協定書締結 16 施設内全面禁煙実施 17 「こどもの日」「文化の日」臨時開館決定 長崎学関連を中心とした明治期以前の郷土資料等約6万点を、長崎歴史文化博物館へ移管 18 祝日開館完全実施 長崎県・上海市友好交流関係樹立10周年を記念し図書展示コーナー「上海の窓」を設置 19 インターネット用パソコン増設、ホームページリニューアル（横断検索、予約等新機能付加） 図書館利用者用駐車場を拡張 20 地域資料の一般貸出を開始 長崎県立長崎図書館古典籍目録刊行 23 障害者用トイレ等改修 24 図書館情報システムを更新（電算機更新）、ホームページリニューアル（順番予約等新機能付加） 創立100周年記念式典開催 25 創立100周年記念誌刊行 県教委において「新県立図書館整備基本方針」を決定 26 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」利用開始 県教育委員会において「県立・大村市立一体型図書館及び郷土資料センター」（仮称）整備基本計画を策定 29 4月「県立・大村市立一体型図書館」（仮称）建設着工